

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第5学年

【単元名】 分数(1)(9時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
A(4)ア (ウ)一つの分数の分子および分母に同じ数を乗除してできる分数は,元の分数と同じ大きさを表すことを理解すること。 (エ)分数の相等及び大小について知り,大小を比べること。 A(5)ア (ア)異分母の分数の加法及び減法の計算ができること。	A(4)イ (ア)数を構成する単位に着目し,数の相等及び大小関係について考察すること。 A(5)イ (ア)分数の意味や表現に着目し,計算の仕方を考えること。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり: 大きさの等しい分数を探したり, 同分母分数の加減計算の仕方について考察したりした。(4年)  
 約数・倍数などの整数の性質について考察した。(5年)

働かせる見方・考え方: 数とその表現や計算の意味に着目し, 目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察すること。

階	学習活動(時間)	留意点
分数の大小、等しい分数に関する知識・技能を学ぶ  知識・技能を用いて考える  学びを返る	1 異分母分数の大小を比較する活動から,単元の目標を見いだす。(1)	<b>学習内容の動機付けをする場面</b> ・分数の大きさ比べなどのゲーム的活動により,異分母分数どうしの大小やたし算・ひき算について考えていくという単元の目標を設定する。
	2 等しい分数の作り方を考える。(1)	<b>単元の目標を設定し,知識・技能を習得する場面</b> ・数直線や図などを活用し,大きさの等しい分数に着目できるようにする。 ・同じ大きさを表す分数の指導を通して,数についての感覚を豊かにできるようにする。 ・二つの分数のうち,一方のみを何倍かしたり,双方とも何倍かしたりして通分する方法を,既習事項を基にして考える場を設定する。 ・共通の分数をつくり出す際に,除法に関して成り立つ性質と関連付ける。
	3 もとの分数より分母の数が小さく,等しい分数の見つけ方を考える。(1)	
	4 分母が異なる等しい大きさの分数の見つけ方を考える。(2)	<b>知識・技能を活用し,加減計算の仕方を考える場面</b> ・通分により,分母が同じ分数の加法・減法として計算できること,通分することによって単位分数の個数に着目して考えることができるようにする。
	5 異分母分数の加減計算の仕方を考える。(2)	
	6 帯分数を含む異分母分数の加減計算の仕方を考える。(1)	<b>自分の学びを振り返る場面</b> ・日常場面において,異分母分数の加減を用いて問題解決する場を設ける。 ・大きさが変わらない分数のつくり方や異分母分数の加減の仕方について振り返る。
	7 本単元での学習内容を振り返り,学んだことを活用する。(1)	

次単元へのつながり: 分数・小数・整数の混合計算(6年)